

第 30 期定時株主総会質疑応答概要（2025 年 12 月 20 日開催）

Q1：3D 雨雲ウォッチの業況と投資継続の有無を教えてください。多分野連携で総合プラットフォームに成長する可能性があると思います。（事前質問）

A1：3D 雨雲ウォッチに対する投資につきましては、サービス品質の向上を目的に、予測精度の向上のための投資を継続しています。また、直近では X バンドレーダー※¹への対応などを行いました。

今回の関西・大阪万博※²においては理化学研究所、NICT※³、気象研※⁴そして大阪大学などと一緒にスーパーコンピューターの富岳を用いた高精度な気象情報を提供してゲリラ豪雨を、90%の確率で当ててことに成功しています。

また、この 3D 雨雲ウォッチに関しては、ビジネス展開に関しては、今後特に防災システム等各自治体の防災システム等との連携も検討しており、そういったことを通じて新たな収益化を設けていきたいと考えています。（代表取締役前多）

※1 X バンドレーダー…降雨の強度や移動速度を高精度で測定するために使用されるマイクロ波の周波数帯域。特に、局地的な大雨やゲリラ豪雨の監視に適している。※2 関西・大阪万博…2025 年日本国際博覧会、※3 NICT…国立情報通信研究機構、※4 気象研…気象庁気象研究所